

NPO法人「みんな一書」へのお誘い

2012.04.01 書ギャラリー親かめ子かめ 亀井 勤

宮城の7人の書家により立ち上げた東日本大震災復興支援プロジェクト「みんな一書」

こころのメッセージで日本を盛り上げよう！！

震災から立ち上がった宮城の書人たちが今の自分の想い、エールを「書」にぶつけました。

この活動を通して、被災地の書家をはじめとしたアーティストが元気を取り戻すことを願っています
(みんな一書ホームページより)

この理念のもと、昨年4月から、「書」による復興支援活動を開始。インターネットを使ったポストカード販売、チャリティーオークション、カレンダー販売などで収益をあげ、今年2月からの東京(銀座)、気仙沼、石巻、仙台の4会場を巡回した「みんな一書」書初展で、微力ながらやっと被災地を応援することができたとホッとしているところです。私の個人的な想いで始まったこの活動が約一年間も継続できたこと、そしてここまで大きく広まったことは、すべて皆様のご協力があったことと、深く感謝するとともに、震災をきっかけにできたこの絆をこれからも大切に、活動を続けていかなければという気持ちが次第に強くなっています。

震災から1年を経過して、私たちの気持ちや生活状況は少しずつ変化し、要望は多種多様になってきています。また、「みんな一書」への理解者の数も次第に増え、私一人での対応が困難になりつつあります。このような状況からこれまでのようなボランティア活動では限界があると考え、これからは、「みんな一書」を法人として登録し、しっかりした基盤のもとで活動していきたいと考えました。現在、NPO法人「みんな一書」の申請の手続きを進めています。皆様にはその創設メンバーとしてこれから一緒に震災&日本文化の復興支援活動にご協力いただけたら幸いです。参加希望の方は、

郵便番号、住所、氏名、氏号、電話番号、携帯番号、メールアドレス、携帯メールアドレス、生年月日、性別、職業(具体的に)を明記の上、

minnaisho@shojin.net

にメールを送ってください。メールをお使いでない方は、はがきで、

〒981-3203 仙台市泉区高森7-36-5

書ギャラリー親かめ子かめ 亀井勤

まで送付ください。また FAX の場合は

022-378-9916

をお願いします。参加する上で、注意していただきたいことは、

★注1 以下の内容を読んで、活動内容に賛同できること

わからないところは曖昧にせず、遠慮なくお気軽にお問い合わせください。

★注2 会費徴収に同意できること

これまでの活動をベースとして、年会費 正会員 10,000 円、賛助会員 5,000 円と考え、不足分は、寄付、各種助成金、事業収益金で賄います。

★注3 活動に参加できること

しかし皆様の負担になっては本末転倒です。くれぐれも活動への参加は、仕事や生活に支障のないよう、負担にならぬ程度にお願いします。また賛助という形で会費のみの参加でも構いません。理事会では皆様が進んで参加したくなるような企画を用意するように心がけます。

「みんな一書」とは

基本は、現在の書道団体でできることはそちらにお任せして、既存の団体ではできないこと、新規アイデアを試す団体です。**ただ群れをなすのではありません。**各個人の活動が重要で、さまざまな個性の集合体をめざします。以下、これまでの書道団体とは異なる特徴です。

1.震災復興活動がベースとなっていること

震災は、私たちの暮らしをズタズタに引き裂きましたが、ここは一つにまとまりました。すべての人が納得する「復興」という基本理念をもたらしたことが、東日本大震災後の唯一の希望であり、「みんな一書」の活動の原動力となりました。つらい耐えがたい経験でしたが、あの気持ちを忘れさえなければ、これからもみんなで協力してやっていけるものと信じています。

2.特定非営利活動(NPO)法人であること

宮城県では唯一の NPO 法人の書道団体です。おそらく全国でもほとんどありません。

3.参加資格が必要なく誰でも参加可能

NPO 法人は参加資格を限定できないという特徴があります。「みんな一書」を NPO 法人として選んだのは、このことをはっきりさせたかったからでもあります。

4.IT 技術との融合

縦のつながり(師弟関係)から、縦横無尽・柔軟で自由なネットワーク網への展開をめざします。

誤解しないでいただきたいのは、これまでの縦のつながりを否定するものではないということです。これまで長年続いてきた伝統的な手法やしくみにはそれ相応の信頼性、確実性あります。「温故知新」これと対立するのではなく、上手く融合していけたらと考えています。

5.個人のオリジナル作品を紹介、販売を前提とすること

復興支援および会員が作品制作に専念できる環境を提供するためには収益を上げることは必須です。ただし、売買する作品は震災復興に関係するものを前提とします。

被災地に対しては、癒し、希望、励ましになるようなもの

世界に対しては、震災を風化させない、忘れないためのメッセージ性のあるもの
などです。また製作者と購入者が共に幸せになることが大前提で、双方が納得する対価をつけなければなりません。NPO 法人で販売?と疑問を持つ方が多いと思いますが、そこがポイントなのです。公に収支報告が義務付けられている NPO 法人だからこそ、適正な信頼させる価格を設定できるのでは考えます。

仙台市に提出する NPO 法人設立趣旨書(案)

近年のインフォメーションテクノロジー(以下 IT と称す)の普及により、私たちは多くの情報を瞬時に手に入れることができ、自分の情報発信も手軽に行えるようになりました。

しかし他方では、漢字、ひらがなを自分の手でかく習慣がほとんど無くなりつつあります。文字を素材とした伝統文化である習字、書写、書道(以下総称して「書」と称する)が軽視され続けて久しいのですが、最近では、この状況を危惧し、もう一度「書」の大切さを見直そうとする機運が高まっています。手書き文字には、心と魂がこもります。活字とは違い、書き手の喜怒哀楽が表れます。今回の東日本大震災においても、「書」は、被災地に対しては、癒し、希望、励ましを与え、全世界に対しては、震災を風化させない、忘れないというメッセージとして大きな役割を果たしました。また、毛筆で書くことはバランス感覚や手先の器用さや集中力などの向上、脳の活性化にも効果があるとされています。

このような「書」を絶やすことなく、未来の子供たちに伝えていくこと、さらに世界に広く知ってもらうことは大切なことという考えから、このたび私たちは「非営利活動法人みんな一書」を設立し、この法人の下に震災復興支援活動を基本とした「書」の普及支援をするサービスを開始することを決めました。

具体的には、

- (1) 子供たちに「書」の楽しさや大切さを体験してもらうためおよび東日本大震災復興支援活動として展覧会やイベントを企画したり、専門指導するワークショップやセミナーを開講します。
- (2) 「書」に携わるあらゆる人たちのネットワークを強化に努めます。IT 技術を上手く取り入れた新しい環境やシステム、手段を模索していきます。現在の縦割りの仕組み(会派、団体など)を遵守しながらも、その垣根を越えた交流の場を用意し、横のつながりを強化していきます。これは、東日本大震災のような非常時には緊急連絡網や情報交換網としての役割も果たします。
- (3) 発表の場(ギャラリー)を提供します。個展やグループ展に必要な作業全般(計画、設置、販売、撤去など)をトータルにサポートし、主催者(発表者)の負担を軽減します。
- (4) 茶道、華道、武道その他、「書」以外のさまざまな芸術文化との交流を図り、協力して日本文化を世界に広くアピールしていきます。
- (5) その他、日本の伝統を守り、伝えるためにできることを柔軟に考え、対応していきたいと考えています。

仙台市に提出する NPO 法人設立に至るまでの経過(案)

ちょうど一年前、私たちは千年に一度という大災害に見舞われ、多くの命を失いました。そんななか、「生き残ったものの責任として、ふるさと宮城のため、できることは何でもやりたい」という想い一点で昨年4月に結成されたのが、東日本大震災復興支援プロジェクト「みんな一書」です。ご存じの通り、震災直後の状況は日々刻々を変わり、次々と新たな問題が噴出し、生活は混乱を極めていました。そんな中、私たちは対応スピードを最優先に考え、行動を開始しました。具体的には、「書ギャラリー親かめ子かめ」の専属作家代表である亀井勤の自宅を拠点とし、書作品を募集。それと同時に、広く世界に協力を呼びかけるため、インターネットドメイン名(shojin.net)取得し、情報発信 WEB サイト「みんな一書」を結成後約一週間で用意しました。

その後4月末から、集まった書作品をデジタル加工したポストカードを製作し WEB サイトで販売。その収益金の一部を、津波の被害で作業場を失った表装業者にお見舞い金を寄付しました。

8月には、株式会社リンクスからのお誘いにより、東京銀座画廊美術館で開催された「被災地・東日本の作家展」に参加。震災後の宮城の想いを全国に知らせることができました。同時に展示した作品はチャリティー販売され、販売価格の50%は今後の作品制作資金として作家本人に還元、残り50%は「みんな一書」復興支援活動資金として貯蓄することができました。また、作家の作品と希望のメッセージを綴った書籍「和顔愛語」を出版。この収益の全額も復興支援活動資金に回しました。

この展覧会は好評で、11月には、仙台のおかやギャラリーのご協力により、「被災から立ち上がった作家展」として被災地の方々にも紹介することが叶いました。このときは、中央書壇の書家による色紙作品も同時に展示、一部作品を根白石中学校と大河原小学校に寄付しました。

そして新しい年、また震災後一年を迎えて、今度は、被災地に限らず全世界から広く書作品を応募し、「あれから一年、『みんな一書』書初展」を企画。2012年2月の銀座ギャラリーでの展示を皮切りに、3月は気仙沼、石巻、仙台を巡回展示しました。老若男女のバラエティに富んだ作品は、たくさんの方々の心に響いたことと思います。中でも学生部門の作品は、観覧者によるネット投票を実施、その得票数により優秀賞を決定、書道セットなどの書道用品を贈呈しました。これおそらく書道展初の試みだったと思われます。また全国から届いた被災地応援のはがき作品はすべて、巡回展の会期中に被災地の方々に差し上げ、その代わりにお礼のメッセージもたくさん頂きました。このメッセージは、はがき作品を提供していただいた作家本人に郵送し、書を通して被災地と全国の絆を深めることができましたと感じています。また、このとき、2012年3月から2013年3月までのメモリアルカレンダー「いっぽ歩」を製作して頒布。「書」の作品集としての要素とカレンダーというインテリアの要素、さらに震災をわすれない想いがこもっていることもあり、たくさんの方々喜んでいただけました。

以上が、震災後一年間の「みんな一書」活動の概要です。少しずつながらも震災の復興が進む中、これからは、独立した非営利の組織として、しっかりした計画に基づく社会活動で、「書」をはじめとした日本文化の発展に貢献したいと考え、上記趣旨の下に法人を設立することとしました。

NPO 法人に向けての QA 集

以下、NPO法人化に向けて、これまで受けた質問と回答です。

Q1 一言で言ったらどんな法人なの？

A1 震災と書の復興をテーマに活動する書人ネットワークです。

既存の組織、団体とは異なり、個人個人の自発的活動の連携、つながりで成り立っています。短期間の集的復興支援活動ではなく、長期的に継続した復興支援をめざします。

IT 的には、FaceBook の簡易版。震災&書&日本文化に特化した SNS だと思ってください。

Q2 具体的に集めた会費で何をやるのか？

A1 今のところ

◎書初展

◎カレンダー製作

は既に実行を予定しています。

○グッズ製作(ポストカード、アクセサリ、タオルなど)

○書人ネット

○貸ギャラリー

○貸ボックス

は、希望する会員のみ参加とし、別途実費のみ負担してもらいます。

○ワークショップ開講(書道講習会)

○ライブパフォーマンス

は、今後の会員の要望や環境、状況に応じて企画したいと思っています。

Q3 震災復興支援はしないの？

A3 基本的活動は、「書」を基本とした震災復興支援ですので、もちろんやります。

毛筆でのメッセージ性は、昨年の活動で実証済みです。これからも、

- ・被災地には、癒し、希望、勇気、励ましを
- ・世界には、震災を風化させない、忘れないというメッセージ

をテーマにした作品を紹介することで、

被災地および書をはじめとする日本文化を盛り上げていきたいと思っています。

Q4 すべての行事に協力しなければだめなの？

A4 そんなことはありません。

極端な話、趣旨に賛同して会費のみ支払っていただだけでもいいのです。

会費を払っているのだから、胸を張って欠席してください。

ただし、不公平にならないように協力していただいた会員の方には、

規定の報酬を支払います。

収支の明確さが、NPO法人化の一つの要因でもあります。

Q5 「書」に携わる方以外は参加できないの？

A5 そんなことはありません。

どなたでもどの団体、企業でも参加、協力可能です。

書人ネットは、「書」との架け橋となる 他分野のアーティストも歓迎します。

また、アーティストでなくても、

イベントの企画や展示会の告示、搬入、販売、搬出のお手伝いもあります。

書人ネットの開発、運営をする方も必要です。

趣旨に賛同して会費のみ支払っていただく(賛助会員)でも構いません。

Q6 主な活動拠点はどこになりますか

A6 事務局は、仙台市泉区の泉中央駅ビル(Swing)5Fの

書ギャラリー親かめ子かめに同居します。

物理的活動は、宮城県内が主になりますが、徐々に活動範囲は広げていきたいと思えます。

また、インターネットを使ったコミュニケーションも重要と考えていて、

この輪を徐々に広げ、世界中に、日本文化を発信することが最終目標です。

Q7 連絡先はどちらですか

A7 以下まで連絡ください。

〒981-3203 仙台市泉区高森7-36-5

022-378-9916

書ギャラリー親かめ子かめ 亀井勤

Q8 会費の支払いは？

A8 額は、設立総会で、会費が承認されてから改めて連絡します。

支払いは、郵便振込用紙にて、

郵便振込口座番号 02250-5-117930 みんな一書

をお願いします。

Q9 他の団体と何がちがう

A9 目的は、震災および日本文化の復興ですが、法人としてそれを行うための思想、理屈がないことです。目的に向かっているのなら、会員がどんな理念、考えであれ平等に応援します。それを評価するのは、会員ではなく、世間、社会だと考えます。